



古代の栗原に思いをはせる

4月29日(水)、築館地区城生野で「これからの里歴遊ロマンウォーク」が開催されました。

この催しは、富野地域づくり協議会が主催したもので、富野地域内の史跡などをガイドから説明を受けながら歩き、健康づくりをするものです。

当日は、古墳時代前期後半の大規模集落跡「入の沢遺跡」や「伊治城政庁跡」などを含む約4キロメートルの道のりをガイドが丁寧に紹介しながら歩き、約30人の参加者は地名の由来や地域の歴史に聞き入りま



した。また、同地区で栽培を進めている行者ニンニクの加工品販売や、苔玉の制作体験も行われ、来場者の人気を集めました。

伝統の藍色が来場者を魅了

5月16日(土)と17日(日)、栗駒地区の愛藍人・文字を会場に「藍フェア2026～未来へのあかり～」が開催されました。

会場では、栗駒地区文字で受け継がれてきた日本最古の染色技法「正藍染」で染めた作品の展示や、藍染商品の販売が行われ、訪れた人たちは風合いの美しさに感心していました。



また、同地区で栽培を進めている行者ニンニクの加工品販売や、苔玉の制作体験も行われ、来場者の人気を集めました。

はつらっプレーで節目を祝う

4月26日(日)、小田ダム湖畔パークゴルフ場で「栗駒高原小田パークゴルフクラブ創立20周年記念大会」が開催されました。

この催しは、小田ダム湖畔パークゴルフ場を拠点に活動する、栗駒高原小田パークゴルフクラブが設立から20周年を迎えたことを記念し、開催されたものです。



当日は、49チームの約200人が県内外から参加し、4つのコースに分かれ、真剣な表情でスコアを競い合いました。

まちの話題
ズームアップ!

ZOOM UP!

MACHI no WADAI

各地区の催しを、毎月5地区ずつ紹介します。取材を希望する場合は、催しを開催する2カ月前までに、市政情報課(☎22-1126)へ連絡してください。

くりでん深海に行く

4月25日(土)と26日(日)、くりはら田園鉄道公園で「架空鉄道深海列車」が開催されました。

この催しは、地域の人に公園を訪れてもらう機会を増やそうと、くりでん保存活動推進業務を担う地域おこし協力隊が主催したもので、昨年に続き、2回目の開催になります。

当日は、保存展示中の車両M153をシアターとして活用し、参加した約250人は、深海を走行しているような感覚と車窓に広がる幻想的な光景を楽しみました。



当日は、保存展示中の車両M153をシアターとして活用し、参加した約250人は、深海を走行しているような感覚と車窓に広がる幻想的な光景を楽しみました。

鶯沢幼稚園でサツマイモ植え

5月13日(水)、鶯沢幼稚園の5歳児たちが園内の畑で「サツマイモの苗植え」を行いました。

この催しは、園児たちに食べ物に関心を持ってもらおうと、食育の一環として毎年この時期に開催しているものです。

参加した園児たち7人は、植え方の説明を受けると、さっそくサツマイモの苗を置き、丁寧に土をか



ぶせました。園児たちは、最後に「大きなあれ、おいしくなあれ」と苗に声を掛け、今後の順調な生育を願いました。

栗駒山で夏山開き

5月17日(日)、栗駒山の夏山開きを行いました。

好天に恵まれ夏日となったこの日、栗駒山の主な登山口に当たる、栗駒地区のいわかがみ平と花山地区の湯浜温泉三浦旅館で安全祈願祭が行われ、主催した栗駒山観光協会の関係者や登山者などが、夏山登山の安全を祈願しました。

いわかがみ平と湯浜温泉の登山口を出発した多くの登山者たちは、新緑と残雪がまぶしい登山道を一步一步踏みしめながら歩き、山頂に着くと、鳥海山や月山などの名峰が一望に広がる雄大な眺めに魅了されていました。

5月11日(月)、夏山開きに先立ち、栗駒山山岳指導隊や栗原警察署などが、栗駒山の中央登山道と東栗駒山登山道で、登山道の調査と整備を行いました。この取り組みは、登山者が安全に登山を楽しめるよう、残雪や危険箇所を確認し、倒木などの撤去や、道迷いを防止するためのもので、案内看板や目印となる赤布の設置が行われました。また、夏山開き当日、登山者へ、安全を第一にした登山や登山届の提出、地図の携行、クマへの注意喚起など、安全な登山になるように備えを呼びかけました。

- 1 栗駒山に登頂した登山者たち
- 2 残雪の登山道を踏みしめて歩く登山者たち



狩野 智江さん(若柳元町1)
長寿の秘訣は、家業やお茶飲みなどを通じた人との交流と語り、現在は高齢者福祉施設で朗らかに過ごしています。

長寿100歳 おめでとう ございます

大正、昭和、平成、令和。激動の4つの時代を駆け抜け、思いを紡いで1世紀。

100歳の誕生日を迎えた3人を紹介します。



高橋 榮子さん(鶯沢日向)
家族や自分の衣服を編むほど手先が器用です。明るい性格で、ショートステイを利用しながら元気に過ごしています。



佐藤 司さん(一迫新町)
教員として長らく教育に貢献してきた他、剣道や庭いじりなど多趣味な日々を送り、現在は穏やかに過ごしています。



白熱のラリーが続く卓球大会

5月16日(土)と17日(日)、東北の小・中学生の卓球技術向上や選手の交流を目的に「栗原市長杯争奪第25回東北小中学生卓球大会」が若柳総合体育館で開催されました。

当日は、東北各地の卓球強豪校から41チーム、約250人の選手が出場し、団体戦と個人戦で競技が行われました。

試合は、強豪校同士とあって、素早い打ち合いが続く白熱のラリーが多く繰り広げられ、観客たちは、固唾を飲んでその様子を見守りました。